

今月も
つぶやき
ます!つぶやき
がんちゃん

齋藤 廣勝

(さいとう ひろかつ)

株式会社トータルライフサポート
代表取締役

・CFP®サーティファイドファイナンシャルプランナー

・1級ファイナンシャルプランニング技能士

・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師

・住宅ローンアドバイザー

・金融広報アドバイザー

“最初が肝心”、 「新社会人のライフプラン」

今月の
テーマ

新年度を迎え、新社会人たちの心中は如何に…。学校生活から職場生活に変わり、その環境の変化の中で、言葉遣いや立ち振る舞い、服装、挨拶などなど、社会人としての常識やマナーなど、身に付けなければならない。何かと緊張の多い日々が続いているのかもしれないが、“新社会人よ、大志を抱け”と言いたい。今回のテーマは「新社会人のライフプラン」と題し、お金に関する基本的なことをお伝えしたい。初めての給料を手にして、経済感覚がずれてしまわないためにも、“最初が肝心”なのであり、多くの方に読んでいただければ幸いです。この“生活知恵袋”のコーナー”、思いのほか多くの方に読んでいただけているようだが、果たして新社会人はどれだけの人が見えてくれるだろうか…。いささか心配は残るものの、仮に本人が見ずともこれを読まれた保護者・親御さんには一緒に考えていただけることを期待し、前に進むこととしよう。

さて、タイトルの頭に“最初が肝心”と前置きしたが、これは「新社会人のライフプラン」に限らず、様々な物事に共通することであり、何も新社会人に限ったことでもない。「新社会人のライフプラン」と言えば、どこか面倒臭いようにも思われてしまうかもしれないが、平たく言えば「将来の計画を立て、それに合わせたお金の収支管理をしっかりとしよう」というものである。先の躓きにならないよう“最初が肝心”なのだ。また、これはお金に限った問題だけではない。新社会人としての行いにも共通することだ。学生時代は、どちらかと言えば授業を通して“先生から生徒へ”の受動的な側面が強い。しかし、社会人となるとそうはいかない。言われたことだけをやる姿勢では、なかなか評価されない。主体的かつ能動的な行動が求められるし、協調性やコミュニケーション能力は、知識や経験よりも優先評価されると言っても過言ではない。

■ 社会人1年生のあれこれ

- 新社会人として知っておきたいこと、先ずはやらないといけないことを理解しておこう。とは言っても何をどうして良いのか？ 殆どの方が「????」ではないだろうか。本来であれば、社会に出る前に最低限のことを知っておかなければならないはずだが、それを系統立てて教わる機会はほぼ無いに等しい。ライフプランを立てようにも、ほど遠い状況に違いはない。ならば、この「つぶやきがんちゃん」が、皆さんがこの先躓かないように、新生活に向けたアドバイスをししよう。では、どんな問題が待ち構えているのかを箇条書きにしてみたので確認してみようか。
- ① 初任給を貰ったけど沢山引かれてるものがある、明細書の見方が分からない。
 - ② ポーナスからも何か引かれてしまうの？
 - ③ 健康保険、厚生年金、雇用保険、税金などが引かれているけど、どうやって決まっているの？
 - ④ 健康保険、厚生年金、雇用保険はどんな時に使えるの？
 - ⑤ 貯金をしたいがどんな方法が良いの？
 - ⑥ マイカーの購入は「残クレ」「サブスク」がお得なの？
 - ⑦ 階段で転んでケガをして入院、医療費はどれだけかかるか不安!?
 - ⑧ スマホで簡単にカードローンの手続きが出来るよ!だけども…!!
 - ⑨ リポ払いで買おうと返済が楽と聞いたけど、どういう仕組み?
 - ⑩ 奨学金の返済が始まるがこの

保険と暮らしの相談センター

あなたの夢の実現へのお手伝い!!

相談
メニュー

- ☑ 家計の総合診断(ライフプラン)
- ☑ 保険加入・見直し(生命保険・損害保険)
- ☑ 住宅取得、住宅ローンの見直し
- ☑ 子どもの教育資金計画
- ☑ 年金・老後資金計画

お気軽にご相談ください。



株式会社 トータルライフサポート

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22

● 営業時間 / 9:30~18:00(土・日・祝9:30~17:00)

● 定休日 / 水曜日

TEL 018-827-7611

FAX 018-827-7610

URL <http://tls-akita.co.jp>詳細はホームページでも
ご覧いただけます。

先どうやって払えば…。

①投資を勧められたけど、どうしたら良い…？

②民間の保険には、いつどんな保険に入れば良いの？

③先輩からローンの保証人を頼まれたけどどうすれば…？

まあ、ざっと挙げてみたが、これらへの対処方法を「もう知ってる」という項目はどれだけあるだろうか？？新社会人に限らず、首をかかげている方も少なくないのでは…。余談が長くなっただ、さて本題へ…！

■新社会人のライフプラン

兎にも角にも必ず身に付けたのは、お金との上手な付き合い方である。これまでのお小遣い生活から、自分の収入で生活し、貯蓄をしていくという新しい生活が始まっていく。その先は一生、自分の責任でお金を管理していかなければならない。働いて得た給料は基本的に自分で自由に使い道を決められてしまうだけに、その管理を誤ってしまうと破綻の道に迷い込んでしまいかねない。経済の破綻は人生の破綻に繋がる。

【目標・目的を立てる】

例に挙げたいのが、「大谷翔平」だ。WBCでの彼の活躍は、日本どころか世界中に感動をもたらした。驚くことに、WBCでの優勝も、メジャーでのMVP獲得も彼にとっては想定内だったということだ。「夢は見るものではなく叶えるもの」とよく言われるが、彼はそれを地でやっている。高校生の時に、既に目標は設定されていて、これまでその目標に向かっ

て努力を積上げ、実現に至っている訳だから凄いとしか表現する言葉が見つからない。何とかそれにあやかると、いや見習うべきだ。夢が叶うといいなあ。と、ただ口を開けていただけでは実現はあり得ない。であれば、夢や目標を実現するために何よりもいざばん大切なのは、目標・目的を持つことから始まる。

①2年に1度は海外旅行をする。
②3年後には〇〇の国家資格を取る。

③5年後には新車を購入する。

④7年後に結婚する。

⑤子どもを3人もうける。

⑥32歳でマイホームを新築する。

⑦35歳で独立起業する。

など、まずは自分がやりたいことを見つけてから始めたい。その目標・目的が決まったら、それを達成するためにお金がいかに必要なかを大雑把でもいいから設定することだ。それが、夢や目的を達成するために必要な目標金額へとつながって行く。給料をもらったら、それを「使うのか」「貯めるのか」、そのどちらかを決めるのはあなた自身だ。欲しいもの、したいことへの欲求は無限にあるので、それを我慢して貯めるには、はっきりとした目標・目的がなければ物欲などに負けず、夢や目標や目的があるときに初めて、目の前の誘惑に負けずに貯蓄ができるようになるのだ。もちろん、何の目的も持たずとも生きていくことはできるが、より充実した人生をおくるためには、具体的

な目標・目的を持ち、その実現に向けて努力を続けることだと思おう。その方が、絶対に楽しい筈だ!!大谷翔平の名言に「人生が夢をつくるんじゃない。夢が人生をつくるんだ。」(大谷選手が17歳の時に書いた「人生の目標シート」より)であれば、まずは、目標・目的を見つけてからスタートしたい。大谷翔平のような夢でなくてもいい。私たちの日常における資格や趣味、いざれ買換えが必要となる耐久消費財の購入などの生活の安定のためにも、大なり小なりのお金が必要だけに、あらかじめ想定された金額を計画的にコツコツと貯蓄することが大切だ。新社会人としてスタートする早い時期に、お金との上手な付き合い方を身に付ければ、その後の人生での経済的な躓きをしなくて済む。お金ばかりに執着しているように思ってしまうかもしれないが、大谷翔平がそうであるようにお金自体が目的ではないことはもちろんで、夢や目的を実現するための手段であることは言うまでもない。

■可処分所得を理解し仕訳をする

新社会人にとっては聞きなれない言葉かもしれないが、収入のうち、税金や社会保険料などを除いた所得で、平たく言えば自分で自由に使える手取り収入のことである。可処分所得Ⅱ「給与収入金額ー(社会保険料十所得税十住民税)」ただし、住民税は2年目からとなるため、今年の住民税に関しては引かれない。その理由は、住民税は前年

(1~12月)の収入を元にして計算され、翌年6月から特別徴収(給与天引き)となる。所得税が前払いなのに対し、住民税は後払いとなっている。その結果、給料は変わっていないくても、2年目から手取り金額が減った。と言われるのはこのことである。なんやかんやと引かれるものは、問答無用で引かれてしまうが、引かれたものの説明義務は一体誰が追うのだろうか？？誰も教えてくれる人がいないんだよなあ。ぼやいていても始まらないので先に進むが、要はお給料の仕分けをする元の金額は、可処分所得でなければならないということだ。

■計画的な支出と貯める習慣を

手取り収入に対する具体的な仕訳方法は次回にするが、「支出を予算化すること」「貯蓄金額を決め習慣化すること」が何より大切なことである。失敗の実例として、入ってくる収入を当て込んで欲しいものをリボ払いやクレジットで購入し、「買ってから払う」を繰り返した結果、給料の殆どが支払いに消え、使うお金がないのでキャッシングという悪循環に陥り、生活が立ち行かなくなってしまう若者もいた。最初のボタンを掛け違えた結果である。最初が肝心だ。

■来月号は

仕訳をするにあたって、給与明細の見方、仕訳の手順について触れよう。